姫路市都心地区

(兵庫県姫路市)

〇 計 画 期 間 平成18年度~22年度

積 450ha 〇 面

〇 交付対象事業費 1,181 百万円

〇 市人口 535,837 人 (地区内人口 15,503 人)

ポイント 歴史を育み、賑わいと感動 あふれる都心の再生

##区##要 本地区は、姫路駅、姫路城、手柄山という市を代表する 3 拠 点を中心とする都心部に位置しており、姫路市を代表する都市 イメージを形成・発信するとともに、古来より播磨の商業・業務・ 交通の中心としての役割を果たしてきた地区である。

目標

- 1. 世界文化遺産姫路城など歴史的資源を活かしたまちづくり
- 2. 感動と楽しさあふれる回遊性の高い都心の形成
- 3. 播磨の中核都市として、人・もの・情報が活発に交流する、魅力と活力ある都心の形成

指標

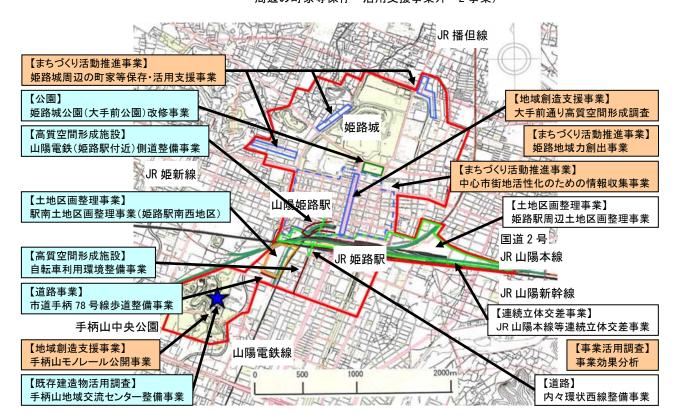
- 1. 既存文化施設の活用、情報発信や、多彩なイベント等による観光入込客数を指標
- 2. 商店街における集客力や人の流れ、都心部の回遊性の高まりを示す指標
- 3. 都心部の魅力や交通利便性の向上を示す指標

年間観光入込客数(千人/年)	4,618	(H16)	\rightarrow	5,739	(H22)
中心商店街歩行者通行量(千人/年)	242	(H17)	\rightarrow	264	(H22)
鉄道乗車人数減少率の改善(%/年)	△2.2	(H15)	\rightarrow	2.1	(H22)

事業内容

基幹事業(1,051 百万円)→道路(延長 185m)、公園(1 箇所 2.5ha)、高質空間形成施設、既存建造 物活用事業 (手柄山地域交流センター)、土地区画整理事業 (7.4ha)

提案事業 (130 百万円) →地域創造支援事業 (大手前通り高質空間形成調査、手柄山モノレール公開 事業)、事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動推進事業(姫路城 周辺の町家等保存・活用支援事業外 2事業)



地区の現況と課題

近年の社会経済情勢や市民意識の変化などにより、これまで本地区が果たしてきた役割に陰りが見られるようになってきた。

このような状況の中、本地区では姫路城を中心とした歴史的・文化 的資源を活用したホスピタリティあふれる国際的なまちづくりや、姫 路駅を中心に都心回遊の拡大や都心居住の促進などによる賑わいのあ る都心への再生などが求められている。

提案事業の特徴

手柄山モノレール公開事業

現存するモノレール車両や駅施設など高度成長期を彩った「歴史遺産」を地域シンボルや観光資源として活用し、広く市民に公開することにより地域活力や魅力の向上を図る。

姫路城周辺の町家等保存・活用支援事業

都心部に残る貴重な財産である町家等の保存・活用を図るため、市 民団体の活動環境の整備や情報提供システムの構築などの利活用メニューを検討し、城と調和した景観形成と都心の魅力づくりに資する。

── まちづくりの効果、持続的取り組み

姫路城周辺の大手前公園の整備や野里地区での「まちなみ交流館」 の運営実験により、歴史的な雰囲気が醸成され、市民の地域全般の歴 史に対する意識が高まるとともに、回遊性の場づくりが実現した。

イアロフ姫路・兵庫世界大会への支援により、都市の魅力が国の内 外へ発信された。

連続立体交差事業や土地区画整理事業など駅周辺の基盤整備の充実により、交通結節機能が拡充された。

── 姫路市長 石見利勝のコメント

本市は、古来より播磨地域の中心として栄え、世界文化遺産姫路城に象徴される風格ある歴史文化都市として、近代から現代にかけては活力ある商工業都市として発展を遂げてきました。

一方、本市を取り巻く環境の急激な変化に対応し、播磨の中核都市 として成長を続けるためには、将来を見据えた方策の転換や再構築が 求められています。

この賞を励みに、二期計画である姫路駅周辺地区におきましても、 駅前広場や大手前通りの再整備を進め、中核都市の玄関口として魅力 ある都市景観の形成や交通結節点機能の向上による、姫路駅周辺にお ける回遊性の向上やさらなる魅力の向上に取り組んでまいります。



▲山陽電鉄(姫路駅付近)側道整備事業



▲手柄山地域交流センター事業



▲手柄山モノレール公開事業



▲姫路城周辺の町家等保存・活用支援事業

姫路駅西地区まちづくり協議会 原田連平会長のコメント

姫路駅西地区まちづくり協議会は、毎月会合を開き意見交換し、住み良いまちづくり実現のために姫路駅周辺整備に ついての提言や姫路駅周辺の放置自転車問題など、地域住民の目線で取り組んでいます。

平成の築城と言われております世界文化遺産姫路城の大規模改修は平成27年春に、また、姫路駅周辺の整備も急ピッチで進むなか、JR姫路駅新駅ビルも平成25年春にはリニューアルされるなど、地区周辺の環境が大きく変わろうとしています。

ついては、平成の築城を心から祝えるまちづくりが成就するよう、微力でありますが尽力していることが「まちづくり効果賞」の受賞へつながったのだと、地元としても大変喜んでおります。